



七小だより

<https://www.hino-tky.ed.jp/e-hino7/>

No. 2

令和4年4月28日
日野市立日野第七小学校
校長 大西 浩之
TEL 042-583-3907



時と場所を超えて伝わる「思いやり」

校長 大西 浩之

新年度がスタートし1か月が経ちました。気を張っていた子供たちも新しい学校生活に慣れ、友達や先生たちとのかかわりが広がってきています。休み時間の校庭には黄色い帽子をかぶった1年生たちが元気よく遊ぶ姿も見られ、見ているこちらの心も弾んできます。



先日は「1年生を迎える会」を行いました。とはいえ、感染症の影響で全学年が集まるわけにはいかないので、今回は1年生と、在校生代表として6年生が体育館に集まり、その他の学年は教室でリモート参加の形をとりました。それぞれの学年が1年生のために用意した出し物・映像は、場所は違っても「思い」は伝わったはずです。また、離任式においては、お世話になった先生方に感謝の手紙を渡しました。残念ながら出席できなかった職員もいましたが、こちらも手紙として形にすることで感謝の思いは伝わります。子供たちには、「思い」は行動を起こしたり形にしたりすることで、「思いやり」として時と場所を選ばず相手に伝わりと話しました。今年度の教育目標の重点の1つは「思いやりのある子」を育てることです。七小の子供たちを「思いやり」の行動を起こしていける子に育てていきたいです。

さて、感染状況が未だに収まらない中ですが、東京都では5月22日までがリバウンド警戒期間と発表されました。これに先立ち、日野市では4月15日以降の教育活動について教育委員会からガイドラインが示されています。本校では、このガイドラインに基づき、東京都の感染レベル・日野市の感染状況及び、校内での感染状況を見極めながら、教育活動を行っていきます。現在のところ、5・6年生の移動教室及び、1年生から4年生までの遠足、6月の学校公開も基本的な感染予防を実施しながら行っていく予定です。ご理解いただきますとともに、ご家庭での感染症対策にもご協力ください。

家庭における感染症予防

- ① 3密の回避・手洗い・マスクの着用
- ② 毎朝検温・健康観察
- ③ 十分な換気
- ④ 手が触れる場所などの消毒
- ⑤ タオルなどを共用しない
- ⑥ 外出時の人数・時間は最小限に
- ⑦ 同居家族も同様の予防

5月の行事予定

1	日	
2	月	委員会②・避難訓練・4時間授業(1)
3	火	憲法記念日
4	水	みどりの日
5	木	こどもの日
6	金	視力(5)・4時間授業・家庭訪問(1)・個人面談(2~6)①
7	土	
8	日	
9	月	4時間授業・家庭訪問(1)・個人面談(2~6)②
10	火	4時間授業・家庭訪問(1)・個人面談(2~6)③
11	水	B時程 4時間授業
12	木	内科(1~5)・4時間授業・家庭訪問(1)・個人面談(2~6)④・尿検査2次
13	金	安全指導・4時間授業・家庭訪問(1)・個人面談(2~6)⑤
14	土	
15	日	
16	月	4時間授業・家庭訪問(1)・個人面談(2~6)⑥
17	火	ハケ岳移動教室(5)
18	水	ハケ岳移動教室(5)・心臓検診(1・転)
19	木	耳鼻科(2・4・6)・SOSの出し方に関する教育(5)
20	金	遠足(1)・都学力調査(6)
21	土	
22	日	
23	月	5時間授業・日光移動教室保護者会(6)
24	火	遠足(2)
25	水	
26	木	耳鼻科(1・3・5)
27	金	遠足予備日(1)
28	土	
29	日	
30	月	委員会③(6月分)
31	火	体力テスト(1・6)・遠足予備日(2)
1	水	B時程・4時間授業・体力テスト(2・5)
2	木	体力テスト(3・4)
3	金	学校公開
4	土	学校公開・セーフティ教室・4時間授業・学校説明会

※行事等については変更・中止となる場合があります。

5月の目標

生活指導目標「友達をさそって元気に外で遊ぼう」

保健目標 「けがを防ごう」

給食目標 「食事のマナーを身につけましょう」

◎『時間』をどう使う？

副校長

児童が休み時間に元気いっぱい校庭で遊び、予鈴が鳴ると汗を拭きながら教室へ戻っていく姿を見かけます。日を追うごとに「暖かく」から「暑く」感じる日が増してくる季節ですが、朝晩はまだ寒く感じることもありますので、体調を崩さぬようご注意ください。

ゴールデンウィーク期間は生活のリズムが一定でないことから、崩れやすくなります。「早寝早起き朝ごはん」という、児童の心身の成長にとって大切な基本的生活習慣を取り入れて、心も体も丈夫で健康な生活を送ってほしいと願っています。そのためには、時間の使い方を意識して過ごすことが大切になってきます。

時間は止まってはくれませんし、「あのとき、〇〇すればよかったあ」と思っても、その時間は戻ってきません。どのように「時間」を使えば、みんなが幸せになれるのか。集中して短期間で行うことがよいのか。時間をかけてじっくりと取り組み、成果をだせばよいのか。その場・その時・その状況をしっかりと見定めていく「眼」が大切です。これは子供たちの成長を促す場面にも共通していることです。

学校・保護者・地域が互いに協力しながら、児童のもつよさを伸ばすために「どう時間を使うか」、考えていきたいものです。

◎七小の生活指導について

生活指導主任

毎年クラス替えがある七小の 4 月は、新しいクラスでの新しいメンバーとの出会いを喜びながら、そのクラスで皆が仲良く気持ちよく過ごせるように、ルールを確認してスタートしています。その時に基本になるのが、全クラスにも掲示されている「七小の一日」です。例を挙げると、

- ・先生や友達、知っている人に会ったら、自分から挨拶をします。
- ・休み時間、移動をする時は、廊下、階段の右側を静かに歩きます。
- ・給食は、協力し合って早く準備をし、静かに食べます。

というように、登校から下校までの 1 日の良い過ごし方について示されています。子供たちには、なぜそのように過ごす方が良いのかを自ら考え、きまりを守れるようになってほしいと考えています。

また、毎月の生活目標に合わせて、各クラスで頑張りたいことを話し合っ取り組むようにしています。めあてやきまりを自分たちのことと意識して行動できるように、今後も指導していききたいと思います。

◎今年度の研究について

研究主任

【研究主題】地域への思いを大切にする児童の育成

【副主題案】生活科と総合的な学習の時間における 6 年間の地域の学びを通して

今年度も昨年度に引き続き、郷土教育を中心として、総合的な学習の時間や生活科などの教科横断的な学習を通して、地域を愛し、地域に感謝する児童を育むことを主題としていきます。

また、昨年度はコロナ禍の影響で地域の方々から直接学ぶ機会が減ってしまい、思うように授業が進められませんでした。そこで児童が 6 年間かけて七小で地域からどんなことを系統的に学ぶべきか見直し、地域に出て学んだり、地域の方から学んだりすることで、地域への思いを大切にする児童の育成を目指していきます。

以上のことから今年度の研究主題を「地域への思いを大切にする児童の育成」として、副主題を「生活科と総合的な学習の時間における 6 年間の地域の学びを通して」とします。